

2021年7月8日 日光市立三依小中学校の全生徒 を対象としたアンケート結果※の報告

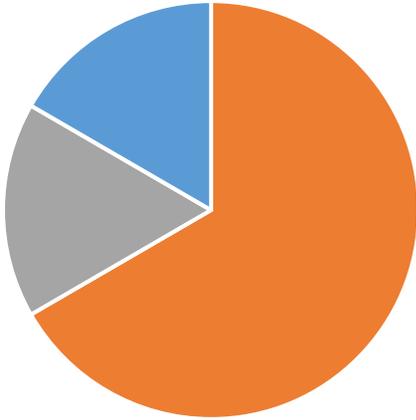
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 宮本幸太
岐阜県水産研究所 岸 大弼

※アンケートはお話の前後に行いました。

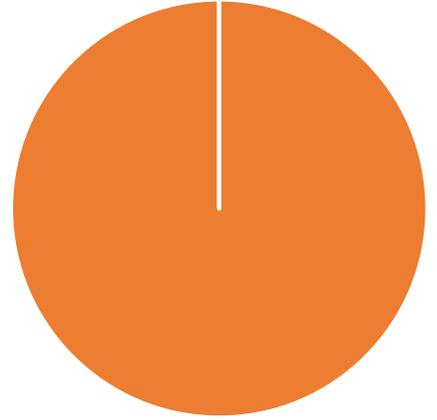
本授業は、2021年7月8日に三依地域おこし協力隊の田邊宜久さんと竹嶋聖さん、三依溪流
つり場の塩生康幸さん、おじか・きぬ漁業協同組合三依支部の組合員の皆様、日光市立三依
小中学校の皆様の協力のもと実施しました。

もんだい：川でゴミひろいや、魚をふやしている人たちの あつまりは？

おはなし前



おはなし後



- のうきょう ■ ぎょきょう ■ こうむいん
■ つりかん ■ わからない

せいかい が **67%→100%**

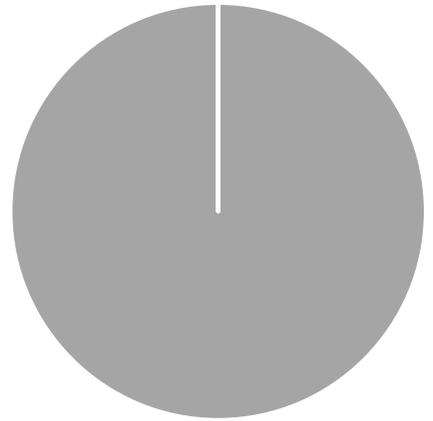
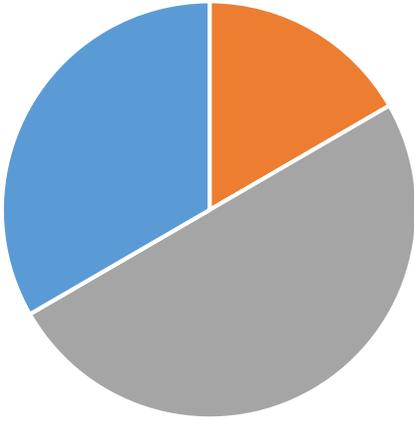
お じか がわ
男鹿川では
おじか・きぬ ぎょきょう
みより しぶ

パトロールや かんばんづくり

もんだい：とちぎけんでは、○○cmよりちいさいイワナ・ヤマメ
がつれたら、川へにがさなければいけない？

おはなし前

おはなし後



■ 5 c m ■ 8 c m ■ 1 5 c m
■ 2 2 c m ■ わからない

せいかい が**50%→100%**

魚つりのルール①

「15センチより小さいヤマメ
やイワナはとったらだめ」
(とちぎ県)

10センチ



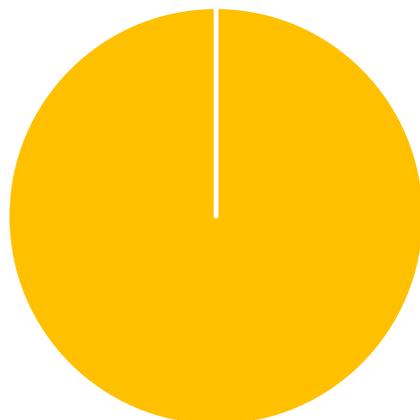
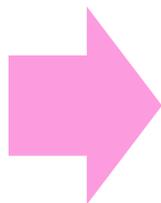
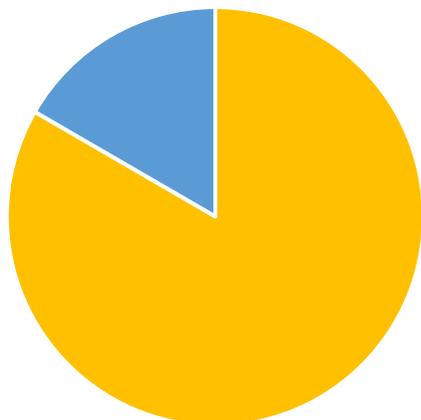
もし、小さい魚を
とってしまったら、
すぐ川にもどす



もんだい：つりにいくときにひつようなものは？

おはなし前

おはなし後



- すいりけん
- にゆうすいけん
- ファストパス
- つりけん
- わからない

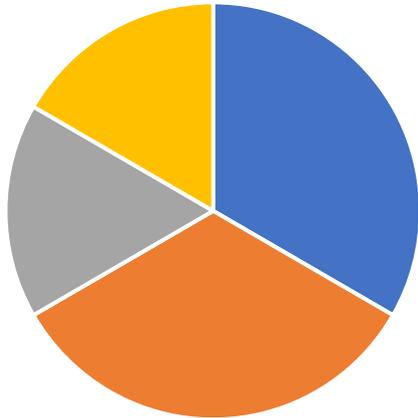
せいかい が **83%→100%**

つりけんのお金

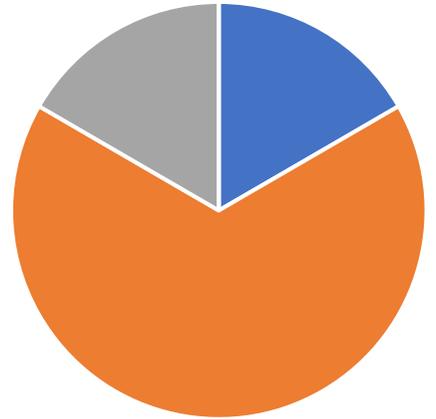


しつもん：つりにいきたいですか？

おはなし前



おはなし後



- 行きたい
- 少し行きたい
- あまり行きたくない
- 行きたくない

おはなし後には「つりに行きたい/少し行きたい」とこたえた人が
67%→83%



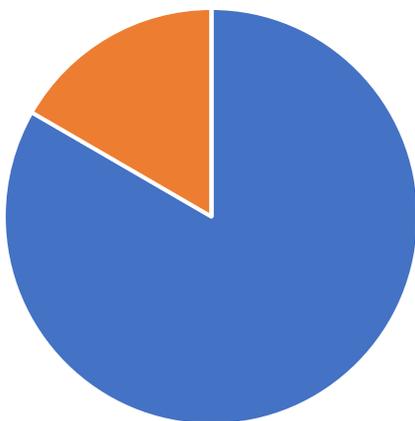
← イクラまじん“サーモンマン”こと、みよりちいきおこしきょうりょくたいの田邊（たなべ）さんが、つりのルールをせつめいしているようです。

→ みよりちいきおこしきょうりょくたいの竹嶋（たけしま）さんが、くじょしたどうぶつの毛をりょうした毛ばりづくりのせつめいしているようです。



しつもん：おはなしは、おもしろかったですか？

おはなし後



■ おもしろかった ■ ふつうだった ■ つまらなかった

おはなしが おもしろかったと こたえた人は**83%**



日光市立三依小中学校の皆様、校長先生、教頭先生、担任の先生、三依地域おこし協力隊の田邊さん、竹嶋さん、三依溪流つり場の塩生さん、おじか・きぬ漁業協同組合三依支部の方々、授業とアンケートにご協力いただき感謝いたします。

しつもん・かんそう へのこたえ



しつもん：川のゴミひろいなどは年に何回位行っているのですか？

こたえ：おじか・きぬぎょきょう みよりしぶ では、1年に3回ぐらい川でゴミひろいをしています。1回のゴミひろいで、トラック1だいにのりきらないほどのゴミをひろいます。川は、人にも魚にも大切なものです。ぜったいに川にごみはすてないようにしましょう。



かんそう：つりけんやキャッチアンドリリースを考える良い機会となりました。

おもったこと：たくさんの方がつりをすると、さかなのかずがへってしまうことがあります。

みんながつりをたのしめるように、15cmよりもおおい魚がつれても、川へにがしてあげる人がふえています。もちかえるときも、じぶんやかぞくがたべるぶんだけにしましょう。そうすれば、みんながつりをたのしめる川になります。

三依には、テンカラせんようキャッチアンドリリースくかんがあります。ここでは、テンカラつり（リールをつかわない毛ばりつり）だけがゆるされていて、つれたさかなは、すべて川へにがさなければなりません。このばしょでは、さかながへりにくいので、こどもでもつりがたのしめます。※つりには、おとなといっしょにいきましょう。

魚つりのルール②

C&R (キャッチアンドリリース)

このような かんぱんがある川では
つれた魚はすべて川へもどす



おはなし後にかいてくれた みんなの かんそう

- ・今まで、15cmより小さいイワナやヤマメは川ににがすというルールをしらなかったなので、今度つりをするときには気をつけたいなと思いました。
- ・ぼくも、つりやゴミひろいなどやってみたいなあと思いました。
- ・C&Rのことと、禁漁区についてくわしくわかりました。私がもし、釣りに行くときには気を付けたいと思います。



保護者の皆様と先生方へ：今回の調査では83%の子供たちが「釣りに行きたい/少し行きたい」と思っていることがわかりました。日光は自然に恵まれた場所であり、渓流魚が数多く生息しています。学校の横を流れる川にイワナがいるなんて、とても自慢できることです。釣りは子供たちに日光の自然の素晴らしさを伝えるきっかけになるとと思います。自然学習や釣りを通じて、自分たちが育った場所を誇りに思ってもらえれば何よりです。

本教材は岐阜県水産技術研究所の岸大弼（きしだいすけ）博士が開発した「魚つりのはなし」をもとに製作しています。「魚つりのはなし」の詳細は以下のURLを見てください。
<http://www.fish.rd.pref.gifu.lg.jp/kyoiku/program/sakana-tsuru/sakana-tsuru.htm>

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産技術研究所 環境・応用部門
沿岸生態システム部 内水面グループ
研究員
宮本 幸太 Kouta MIYAMOTO

〒321-1661 日光市中宮祠2482-3
TEL 0288-55-0055（代表）